



川崎市 総合計画ニュース



川崎市の新たな総合計画づくりの
取り組みの状況について、
定期的にお知らせします。

第6号
H27.4.10

有識者の方々からご意見をお聴きしています。

★有識者会議ラウンドテーブル

有識者会議の一環で、ゲストアドバイザーの講演とテーマ別に議論を行う「有識者会議 第3回ラウンドテーブル」を開催しました。

有識者会議 第3回ラウンドテーブル

日時：平成27年3月13日（金）10:00～12:00

会場：川崎市役所 第4庁舎 第3会議室

出席委員

出石委員、垣内委員、中井委員、平尾委員、涌井委員

ゲストアドバイザーの講演

テーマ：都市構造と交通体系

ゲストアドバイザー 大西隆氏

（豊橋技術科学大学 学長・日本学術会議 会長）

都市計画・地域計画等を専門とされる大西隆氏は、多くの自治体の都市・交通計画に関わられています。川崎市においても、総合都市交通計画検討委員会委員長をはじめ、多くの計画・プロジェクトの立案・見直しにあたって御提言・御助言をいただいております。今回のラウンドテーブルでも、「都市構造と交通体系」というテーマについてご講演いただきました。

大西先生からは、「都市構造や交通体系を考えるにあたっては、川崎は首都圏の一部であるという認識のもと、広域的な視点で考えることが重要」、「身近なまちづくりという視点からは、地域交通におけるきめ細やかな対応が必要」といった御意見をはじめ、南武線の連続立体交差事業や鉄道駅におけるホームドアなどの交通の安全性の向上や、都市の低炭素化、人材育成の必要性等について、御意見をいただきました。



ゲストアドバイザー 大西隆氏



委員による意見交換の様子



涌井史郎座長（東京都市大学教授）



福田紀彦市長

その後、意見交換を行い、「鉄道については、人口減少社会においては、横断方向（都心と直結し、川崎を横断するような方向）の路線でさえ先行きが明るくなく、川崎の縦方向（川崎区～麻生区を結ぶような方向）の交通である、フィーダー交通（都心環状方向で、横断方向の路線を繋ぐような交通）はさらに苦しくなるだろう。フィーダー交通については、むしろ、現段階のサービス水準をどう維持していくかということが、課題となってくるのではないかと」、「これまで、川崎駅や小杉駅などの広域拠点を中心にまちづくりを行ってきた。今後、（鷺沼・宮前平などの）地域生活拠点のまちづくりについても、重要となってくる」など、これからの都市構造や交通体系を考えるための有益なアドバイスをいただきました。

さらには、「人を運ぶ交通とモノを運ぶ物流が、運輸制度の垣根を越えていけないか」「ヨーロッパの都市のように、地域資源を活用したウォーキングや、適切な自転車利用を促進したまちづくりを進め、まちの魅力を高められないか」など、さまざまな角度からの意見交換が行われました。

★有識者会議

新たな総合計画策定にあたり、専門的な知識を持つ有識者の方々からご意見をいただくことを目的として、「第3回有識者会議」を開催しました。

検討テーマ：まちづくり・みどり・防災分野

出席委員

出石委員、秋山委員、垣内委員、平尾委員、涌井委員

はじめに、本市のみどり・防災分野の政策の方向性と主な取組について説明しました。

みどり分野については、多摩川や緑地の存在意義について、「多摩川や多摩丘陵が川崎の風格を創りあげてきた。今後も、緑地に立地するさまざまな地域資源を活かしながら、都市農地も含めた、みどりの風景を守っていくことが大切」「アメリカの自然公園やパリなどでは、公園を上手く管理・活用することでまちの魅力や価値を高めており、川崎も参考にすべき」「みどりの整備や維持にはコストがかかるため、これからもみどりを確保していくためには、民間と公共の両方にインセンティブが持てるような仕組みが作れないか」といった意見が出されました。

さらには、「公園や保育所などの整備の際に子どもの声がうるさいと言われたり、危険だからとキャッチボールができない公園が増えてきたりしている。公共施設にさまざまな思いを持つ市民がおり、それをどうマネジメントしていくのか、市民と議論していくことが必要なのではないか。」という話にまで議論が及びました。

第3回 有識者会議

日時：平成27年3月23日（月）15:00～17:00

会場：川崎市役所 第4庁舎 第3会議室



委員による意見交換の様子



出石副座長



秋山委員



平尾委員

防災分野については、「阪神・淡路大震災では、97%が自助・共助で助けられていることからわかるように、職場、学校、地域などにおいて、日頃から顔が見える関係性を築いていることが重要」「多摩川沿いの自治体をはじめ、都県境を越えた広域連携により、災害発生時に適切な役割分担やリスク分散を図ることができるよう、日頃からよく協議しておくべき。」などの意見をいただきました。

ほかに、災害時の市における指揮命令系統やスポークスマンの役割の明確化の重要性や、防災意識を向上させるために多くの市民が参加できるイベントを開催するなど、平時の防災意識の醸成の必要性などについて、意見が出されました。

次回の有識者会議第4回ラウンドテーブルでは、産業振興とイノベーションに関する議論が行われる予定です。

今後の予定

- ・有識者会議 第4回ラウンドテーブル 4/20（月）
- ・市民検討会議 第4回全体会 4/25（土）

皆さんのご意見をお聴かせください。

市のホームページで市民の皆さんからのご意見をお聴かしています。
(<http://www.city.kawasaki.jp/200/page/0000059368.html>)

川崎市 新たな総合計画



総合計画の最新情報をチェック

[発行]

川崎市 総合企画局 都市経営部 企画調整課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044-200-0372 FAX 044-200-3798

e-mail : 20kityo@city.kawasaki.jp

<http://www.city.kawasaki.jp>